



分教室だより

～ Hanshin branch news ～

兵庫県立阪神特別支援学校 第6号
平成27(2015)年10月16日(金)発行



分教室 スタートして半年

ものづくりの学校の中で

ものづくりを通して、社会自立・職業自立を目指す、分教室の目標にピッタリの環境

兵庫県立武庫荘総合高等学校内に生徒16名、教員6名で開設された分教室が、半年経ちました。

武庫荘総合高等学校は、武庫工業高等学校の時の施設設備も多く残っており分教室の生徒は身近にものづくりを感じながら学校生活を送ることができています。

武庫荘総合高校との交流及び共同学習

その中で、毎週月曜日の午後は総合的な学習の時間で、武庫荘総合高校との交流及び共同学習をしており、とんぼ玉(ガラス細工)、椅子、実物大のヨットの模型の木工、小型研磨機械(砂を強力に吹きかけてコップに模様を描く)を使ったサンドブラストというガラス細工等に取り組んでいます。9月からは情報メディアの授業でも共同学習が始まりました。百人一首や模擬選挙、テニスの授業も計画されています。体育大会(10/5)にも参加します。

9月15日(火)に武庫荘総合高校の工業実習の授業、施設、設備の見学をさせていただきました。

授業は、エンジンの組み立て分解やパソコンを使っての住宅設計、旋盤を使った金属加工、アーク溶接、電気配線接続練習等の見学をしました。機械油の匂い、旋盤が金属を削る音、溶接の光と火花の飛ぶ音、電気配線の結線等々、生徒達にとって初めて見るものばかりで驚きと関心の連続の見学になりました。これらの中から生徒が興味を持ち、やってみたいと思った授業について、今後実習をさせていただき計画を進めております。



エンジンの分解・組み立て実習

分教室の日々

分教室の朝は早いです。8時ごろから生徒が登校してきます。8時50分の始業まではそれぞれ自分の学習等に取り組んでいます。週2回あるWORKの授業は、実際に社会に出た時の仕事を意識した食品加工とビルクリーニングの学習をしています。食品加工では、パンや菓子を作っています。ビルクリーニングでは、本物の清掃技術の習得を目指してほうき、文化ちりとり、モップ、電動のポリッシャー、掃除機の使い方を練習しています。放課後は、高校との調整等により参加可能となったテニス部、将棋部や園芸部、文芸愛好会にも参加しています。またipadを使ったり自主学習をしている生徒もいます。

4月からの主な行事

- ・交通安全教室：西武庫公園内の交通公園で歩行と自転車走行の安全について
- ・農業体験(猪名川)：2000個のたまねぎを収穫。じゃが芋の収穫。雑草抜き。椎茸栽培見学
- ・宿泊学習(神戸)：野外調理、北野工房での豚饅作り体験等
- ・武庫荘総合高校の文化祭：高1の合唱コンクールに参加。展示ではプラ板でのパンダストラップ作りのコーナーで参加
- ・文化鑑賞行事(アルカイックホール)：英語落語
- ・ファイナンシャルプランナーによる「ライフプランとお金」の学習

分教室のWEBサイト(ホームページ)では、日々の分教室の様子をアップしています。ぜひのぞいて見てください。スマートフォン携帯からも見ることができます。

(<http://dmzcms.hyogo-c.ed.jp/hanshin2-sn/>)

QRコード→

<分教室 岡本和也>

